

セミナー1

FotonaSmooth®レーザー及び
高強度テスラ磁気刺激“HITS™”療法による
GSM、尿失禁、サルコペニア、フレイル治療

日時 2021年11月14日(日)13:40~14:40

場所 WEB開催

座長 太田博明先生

川崎医科大学 産婦人科学 2 特任教授
川崎医科大学総合医療センター 産婦人科 特任部長



演者 高強度テスラ磁気刺激(HITS™)治療及び
インティマレーザーを用いた女性医療



佐井 雄一 先生

佐井泌尿器科・皮フ科クリニック 院長

【本セミナーでご紹介されているレーザー装置及び高強度テスラ磁気刺激装置情報サイト】

- ◆Fotona レーザー装置 (公式HP) <https://www.fotona.com/en/>
- ◆インティマレーザー治療 (公式HP) <https://www.fotona-smooth.com/> (日本語情報サイト) <https://intimalaser.jp/>
- ◆高強度テスラ磁気刺激治療 (日本語情報サイト) www.facebook.com/StarformerIntimawave/

【最新医療情報・セミナーに関するお問合せ】

- ＜Fotona日本総代理店＞ ハルテック株式会社 <https://haltek.co.jp>
- ＜婦人科・泌尿器代理店＞ TMKメディカル株式会社 <http://tmkmedi.jp>
Tel. 052-253-7707 [✉info@tmkmedi.jp](mailto:info@tmkmedi.jp)

FotonaSmooth®レーザー及び高強度テスラ磁気刺激“HITS™”療法による GSM、尿失禁、サルコペニア、フレイル治療

座長 太田 博明 先生

川崎医科大学 産婦人科学 2 特任教授

川崎医科大学総合医療センター 産婦人科 特任部長

高強度テスラ磁気刺激(HITS™)治療及びインティマレーザーを用いた女性医療

演者 佐井 雄一 先生 佐井泌尿器科・皮フ科クリニック 院長

加齢による女性特有の疾患にGSM(閉経関連泌尿生殖器症候群)がある。

40歳をこえホルモンのエストロゲンの分泌が低下する時期から発症し、下部尿路症状や性器症状など多彩の症状が発現する。

この原因のひとつには骨盤底の障害が関与しており、骨盤部の靭帯、結合組織、筋肉が弱くなり骨盤内臓器が本来の位置よりも垂れ下がり、種々の機能障害を生じる。

中でも下部尿路症状に着目すると60歳以上の約78%がなんらかの下部尿路症状を有し、中でも尿失禁が最も重要でQOLに大きな影響を及ぼす。

原因としては加齢以外に産後、肥満、便秘、高血圧、糖尿病などのライフスタイルが様々な下部尿路症状に共通するリスク因子と報告され、特有のリスクとして分娩、特に経膈分娩や産後回数、特に腹圧性尿失禁、骨盤臓器脱の重要なリスク因子である。

治療については薬物療法や手術が主となっており、行動療法としての生活指導や理学的療法も併用され一定の効果を得ている。最近では保険外診療ではあるが、レーザーや磁気刺激治療などが登場し、治療の選択肢が広がっている。

今回紹介する高強度テスラ磁気刺激(HITS™)療法は既存の磁気刺激療法の5倍の出力があり、座面下と背面に2つの電磁コイルを内蔵した椅子型の機械で着衣のまま30分間座っているだけで、腹圧性尿失禁、切迫性尿失禁、便失禁などの治療や予防、骨盤底機能の強化として産後や手術後の骨盤底筋のリハビリ、骨盤内の血行不良の改善など多岐にわたった適応がある。

また四肢体幹に使用可能なアプリケーションを装備しており、30分で腹筋運動2万回の効果が出ることからメタボリックシンドローム、サルコペニアやフレイルの予防にも応用可能となっている。

インティマレーザーは膈内及び尿道内に10分~15分Smooth Mode™と呼ばれる非蒸散性のロングパルスEr:YAGレーザーを照射する治療である。これによりGSMに伴う諸症状をノーダウンタイムで外来治療が可能である。

膈だけでなく結膜や口腔粘膜にも照射できるので、眼の下のたるみや鼻唇溝のしわ、たるみの治療も可能で、見た目のアンチエイジングにも使用できる。

今回高強度テスラ磁気刺激(HITS™)療法及びインティマレーザーを用いたGSMによる下部尿路症状、主に尿失禁を中心に治療した経験と既存治療との違いや優位性につき報告する。



佐井 雄一

1980年 杏林大学医学部卒業

1980年 名古屋大学医学部大学院 泌尿器科

1984年 市立四日市病院 泌尿器科

1987年 刈谷総合病院(現刈谷豊田総合病院)泌尿器科

2001年 佐井泌尿器科・皮フ科クリニック 開院